

# 「租」「庸」「調」、三位一体での景気対策

株式会社 北陸銀行  
頭取 高木 繁雄

## 1. 「租」「庸」「調」、三位一体での景気対策…参考別紙

(租：金銭的貢献、庸：人的貢献、調：物的貢献)

⇒国民参加意識の醸成、余剰品の吸い上げ・再活用による個人消費の底上げ

庸…ボランティア

調…家計部門在庫の圧縮

[例]・生活保護世帯等に対する余剰品等の現物支給、その際の収集・運送費の補助  
・海外支援物資等の収集・送料補助  
・ボランティアによる介護・観光ガイド・清掃等に対する補助 など

## 2. 建設業版 離職者支援対策（産業構造改革支援）

○ 炭鉱離職者臨時措置法（1959年～）

- ・職業訓練や手当支給など充実した能力開発支援
- ・就業支度金など早期就業を促すインセンティブ措置

⇒建設業に対する様々な助成策はあるが、受給対象者を見直すことで、既存制度の活性化を図り、経済構造の転換を進め、雇用のミスマッチ解消を目指す

## 3. 国民の安全・安心に特化した公共投資（次世代へも繋がる…次世代負担の軽減）

○ 公立学校施設の耐震化の推進

⇒校舎の統廃合計画が途上にあり、避難場所を確保できていない地域においては、代替施設として高校の耐震化  
(景気対策としての効果と危機対策)

## 4. 地方経済への乗数効果に配慮した公共事業の運用（民需の掘り起こし）

○ 北陸新幹線の工事の前倒し

⇒下請は地元企業を主体とするなど、地域経済への乗数効果を踏まえた運用面での一層の配慮、地方財政負担の軽減を

## 5. 中小企業のグローバル化への支援

- ・地方の中小企業にとっても、海外進出は特別なことではなくなった。
- ・大企業に比べて福利厚生面等は劣り、家族帯同での海外赴任ともなると、精神的・経済的な負担も大きい。

⇒日本人学校と国内義務教育の差額に対する助成の検討

以上

景況が急速に悪化し、先行きの不透明感が増してきて、このままでは一段とすんだ世の中になってしまつのではないかと危惧される。こんな時は一人一人、一社一社が、その持ち場で地域を支え頑張るといふ志が必要ではないか。

ところで、その方策であるが、「大化の改新」の「租」（金銭的貢献）「庸」（人的貢献）「調」（物的貢献）の三つが参考となる。景況が厳しいこれからの時代は租が難しくなるが、知恵を絞り地域に潤いとゆとりを与える庸、調の補完的活用も大切だ。

# 計向風

高木 繁雄 北陸銀行頭取

庸とは地域の消防団などのボランティア活動がそれに当たる。通学児童の見守りや子育て支援、清掃やゴミの分別などの社会奉仕は好不況に関係なく、工夫すれば、まだまだできることがあると思われ。



地域社会の一体感の醸成や資源の

調には災害時の支援物資、学校のバザーや新聞社の新春色紙展・チャリティーなど、さまざまな物品や場所などの提供がある。こうした活動は

リサイクルにもつながり、環境にも優しい。

例えば、頭取就任以来、リストラに追われ、租による貢献があまりできず、せめて「庸・調を」と意を用いてきた。「ほくぎんアーツギャラリー」や落語の「てるてる亭」の創設も、そういう思いの具現化である。

先日、森富山市長より「富山ライトレール各駅視察の折、越中中島駅が特段にきれいだった。何故かと思ひ尋ねたら、北銀中島出張所の方々が毎朝、自発的に清掃をしておられると聞いたので、お礼

まで」との電話をもらった。庸・調の精神が行内にじわりと浸透し、所長が代わっても、続けることが誇らしかった。

平成二十一年もはや旧正月を迎えたが、厳しい景況が続くと予見される。「牛はのろろと歩く。牛はまっすぐに行く。牛は大地を踏みしめて歩く」とは高村光太郎の「牛」という詩の一部だが、この牛のごとくしっかりと大地を踏みしめて、地域に根差し、租・庸・調三位一体で一歩ずつ前進し、厳しい不況を夢と勇気を持って克服していきたいものだ。

## 租・庸・調で地域に活力

毎週日曜日に掲載